

栃木中央地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年7月15日（火）午後2時00分～2時40分

会 場： 栃木市役所 401 会議室

事例数： 1 ケース

参加者数： 13 名

事例提供者 1 名、サービス提供事業者 2 名、助言者 7 名、
包括職員 2 名、傍聴者 1 名

転倒リスクが高く、運動や交流への意欲が低下している 86 歳女性。

〈目標〉1日:体調の良い日はスーパーへ買い物に行く

1年:体調を維持して1年後も今の生活が継続できる

利用サービス:介護予防通所リハビリテーション、介護予防福祉用具貸与

《生活全般の解決すべき課題》

- ・左上肢の拘縮予防や下肢筋力を維持する為にリハビリを継続する必要がある。
- ・安全な環境で見守りや介助を受けながら入浴する必要がある。
- ・福祉用具を活用して安全に生活できる環境整備が必要。
- ・外出や他者との交流を図る機会を継続する必要がある。

《助言者からの助言内容》

- ・転倒は疾患の影響も考えられるため、主治医に相談できると良い。
- ・オーラルフレイルの可能性があるので、口腔機能検査を実施すると良い。
- ・薬を目につく場所に置き、服薬意識を持てると良い。
- ・転倒のリスクが高いため、自宅の動線上に物を置かないなど転倒しない住環境整備を行う。
- ・骨を強くする栄養素を得るために、義歯をしっかりと装着して食事が摂れると良い。
- ・歩行の不安定さにより、地域活動の参加にリスクがある。友人を招くなど、近くで交流機会を得られると良い。



・転倒の原因を明確にし、安全に過ごすことのできる住環境の整備を行う。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・ADLの低下に伴い、他者との交流が限定的となった高齢者の交流機会や移動手段の確保